

【第1章】紀の川流域における二毛作の歴史

名 称	点数	地域	内 容	所 蔵
風呂鍬	1	和歌山市	両手で打ち込み、土を耕し、整える	当館蔵
鋤	1	不明	足をかけて踏み込み、固い土を起こす	当館蔵
牛つなぎ柱	1	和歌山市上野	牛小屋の柱の一部	当館蔵
首木（オナグラ）	1	和歌山市和佐中	牛の首にかけて農具を曳く	当館蔵
尻枷（シリガイ）	1	和歌山市和佐中	牛の後ろに着けて農具を曳く	当館蔵
飼い葉桶	1	和歌山市上野	牛のえさを入れる桶	当館蔵
鼻木	1	和歌山市新庄	牛の鼻に通して操る	当館蔵
口籠（クツゴ）	1	和歌山市新庄	畑の作物を牛が食べないように口にかぶせる	当館蔵
牛の沓	1	和歌山市	牛のひづめを守るわらじ	当館蔵

【第2章】田んぼを耕す—むかしの稲作

長床犁（カラスキ）	1	和歌山市岩橋	牛にひかせて、田んぼを荒起こしする在来耕具	当館蔵
中床犁（カラスキ）	1	和歌山市大垣内	狭い田んぼを耕すのに便利なカラスキ	当館蔵
短床犁（カラスキ）	1	和歌山市西庄	大正時代に熊本県で発明。深く耕することができる	当館蔵
馬鍬（シロカキカイガ）	1	和歌山市吉礼	水を張った田んぼで水と泥をよくかき混ぜる	当館蔵
風呂鍬（オオグワ）	1	和歌山市	人の手で土に打ち込み、深く起こすためのクワ	当館蔵
鋤	1	不明	足をかけて踏み込み、固い土を起こす	当館蔵
土塊割り（クレ打ち）	1	和歌山市小豆島	固まった田畑の土のかたまりを木槌で打って割る	当館蔵
除草具（田打車）	1	不明	田植え後に、稲株の間を押して雑草を取り除く	当館蔵
踏み車	1	和歌山市松原	明治9年製。水車を踏み回し、用水の水を田んぼに揚げる	当館蔵

【第3章】畠を耕す—水田での裏作

両用犁（カラスキ）	1	和歌山市西庄	手元のレバーを動かしてすき先の方角を変える	当館蔵
歯減らし馬鍬（ヤツゴ）	1	和歌山市上野	長い歯で畝替えの畑土を深く耕す	当館蔵
車馬鍬（マイケンガ）	1	和歌山市上野	荒起こした土を細かく砕く。江戸時代発明	当館蔵
碎土機（カニケンガ）	1	和歌山市上野	荒起こした土を細かく砕く	当館蔵
溝切り機（ズーキリ）	1	和歌山市上野	畝の上に種まきの溝を切る	当館蔵
車馬鍬（マイケンガ）	1	和歌山市上野	幅を狭くして、畝間の中耕にも使用	当館蔵
畝間除草具（ヨツゴ）	1	和歌山市鳴神	明治2年製。ハザ（畝と畝の谷間）を耕し雑草を除く	当館蔵
畝間除草具（ミカツキ）	1	和歌山市鳴神	ハザの土を削って生えた草を取る	当館蔵
中耕具（ハラカキ）	1	海南市七山	ハザの土を削りながら崩れを整える。V字型	当館蔵
中耕具（ハザウチ）	1	和歌山市秋月	小さな歯が回転して、ハザや畝の上の土を細かく砕く	当館蔵
畝間除草器	1	海南市七山	カルチベーターを参考にした除草具	当館蔵
谷揚整畝機（トンビ）	1	和歌山市	ハザの草を取り、崩れた土を畝に揚げる西洋式カラスキ	当館蔵
源五兵衛犁（マエビキ）	1	和歌山市打越	後ろ向きで曳く、畑の畝作り耕具	当館蔵
株切り	1	和歌山市朝日	稲刈り後の株を切り崩す	当館蔵
股鍬	1	不明	土の塊を細かく砕く	当館蔵
備中鍬	1	和歌山市津秦	土の塊を細かく砕く。中耕にも使用	当館蔵
唐鍬（トンガ）	1	岩出市曾屋	苗の植え付けに使う	当館蔵
草かき	1	岩出市曾屋	除草用のクワ	当館蔵
草削り（ミカツキ）	1	和歌山市南畑	ハザの草を削る	当館蔵
穴あけ	1	紀の川市丸栖	畝の上を転がし、等間隔に穴をあける	当館蔵
中耕器（ハザウチ）	1	和歌山市秋月	麦の株と株の間の中打ちを行う	当館蔵
碎土器（トンビ）	1	和歌山市木ノ本	大正15年新調。粉河で発明された整畝器	当館蔵
碎土機（カニケンガ）	1	和歌山市梶取	荒起こした土を細かく砕く	当館蔵
碎土機（カニケンガ）	1	和歌山市岩橋	和歌山市手平にあった金星農機具株式会社製	当館蔵
短床犁（カラスキ）	1	和歌山市小豆島	和歌山市手平にあった金星農機具株式会社製	当館蔵

【エピローグ】牛耕からトラクターへ

碎土機（カニケンガ）	1	和歌山市上野	トラクター導入直前のカニケンガ	当館蔵
------------	---	--------	-----------------	-----